

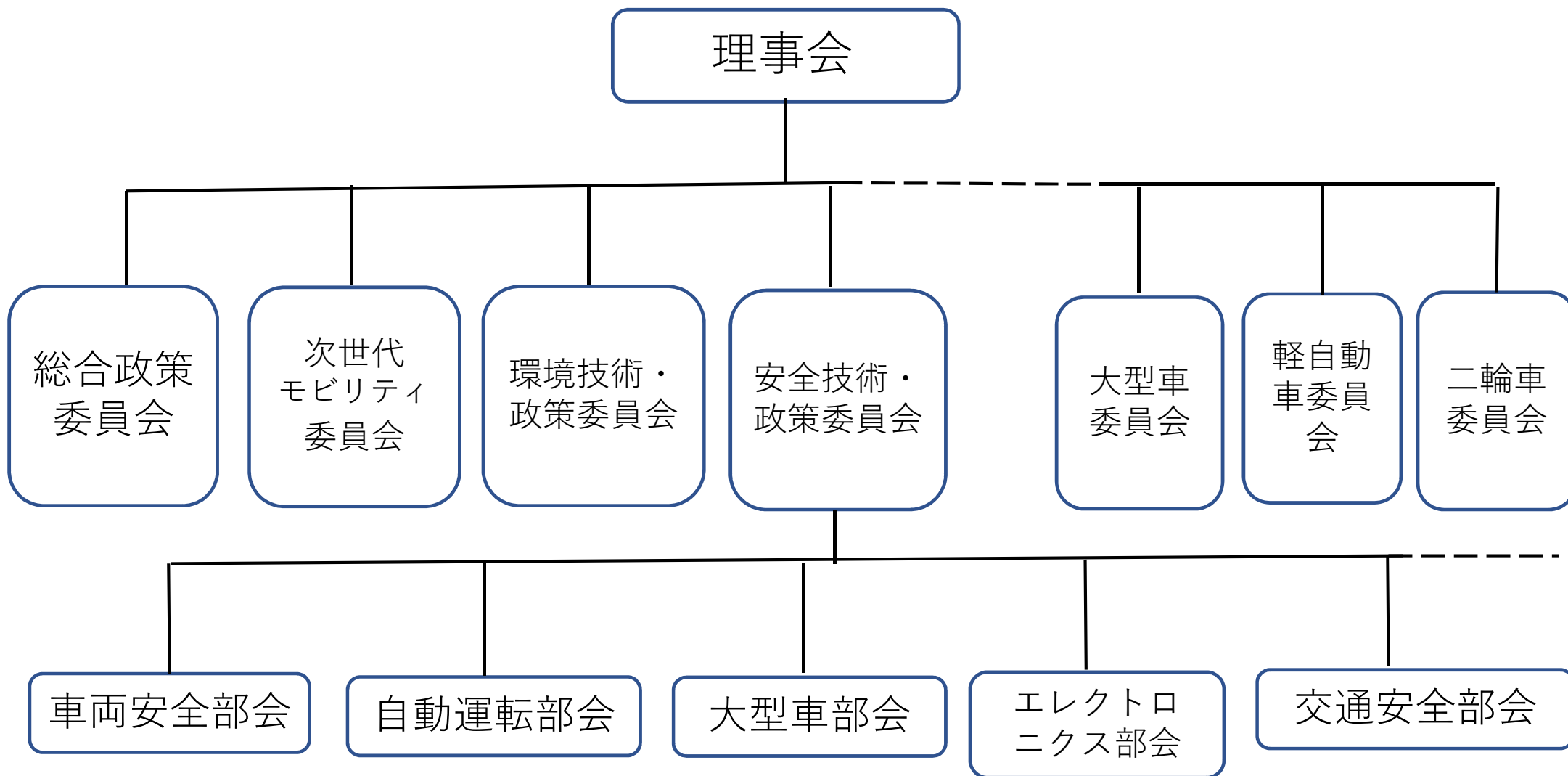
令和4年度第一回 事業用自動車に係る 総合的安全対策検討委員会

資料

令和4年9月30日

一般社団法人 日本自動車工業会 (常務理事 和迩)

自動車工業会の委員会組織（抜粋）



車両安全対策の取り組みについて

①交政審答申：全体

・交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会報告書（R3年6月28日）

「交通事故のない社会を目指した今後の車両安全のあり方について」

— 目次 —

第1章 車両安全対策を取り巻く状況

第2節 技術の開発・進化

1. 自動運転関連技術の開発・進化
2. 公共交通機関や移動サービスの変化
3. その他の車両安全技術の向上
4. 国際基準調和の推進

第2章 これまでの車両安全対策の実施状況

第3章 今後の車両安全対策の方向性

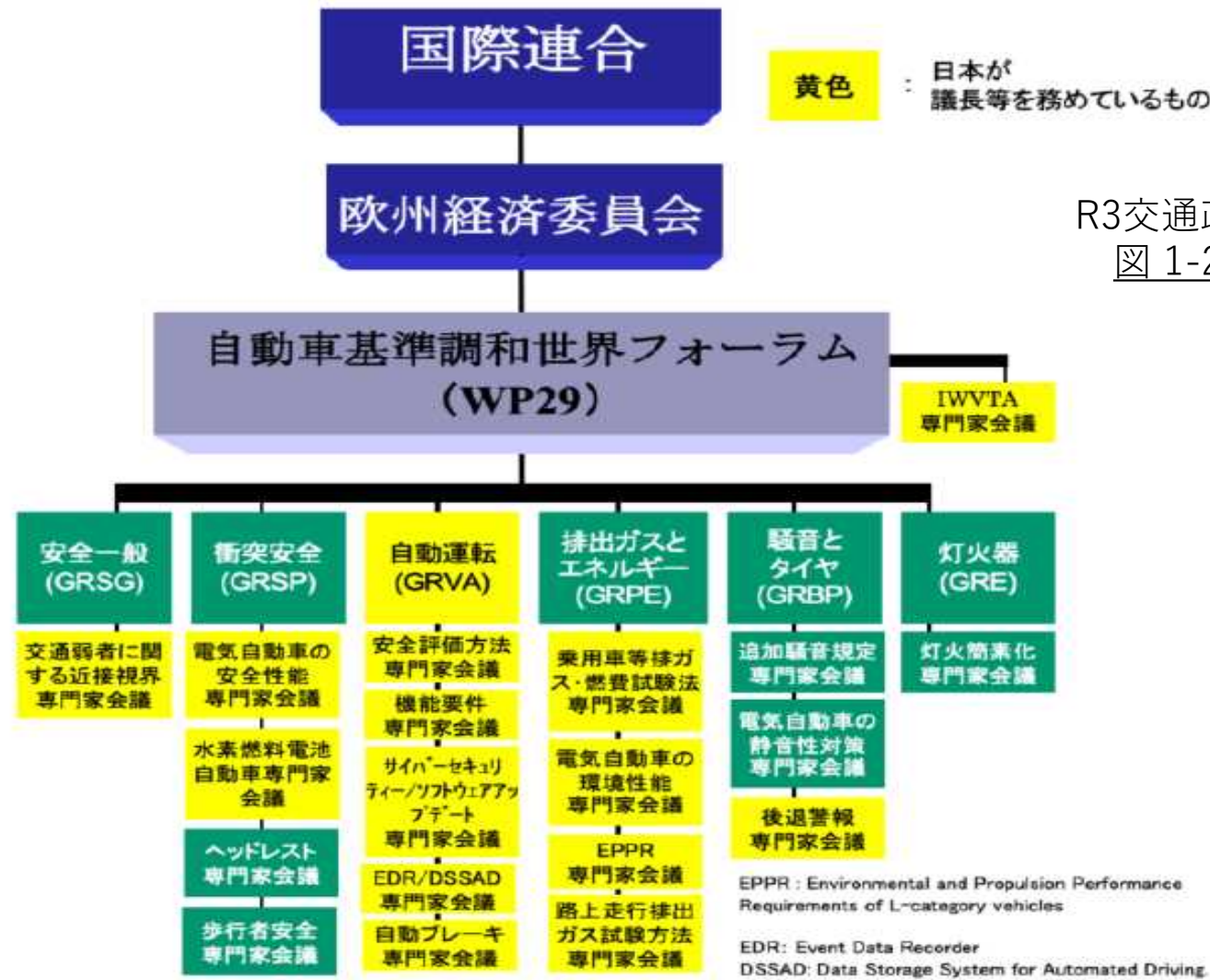
第4章 自動運転関連技術の活用・適正利用促進

第5章 車両安全対策の推進体制

第6章 その他の車両安全対策等

第7章 車両安全対策における新たな削減目標の策定

車両安全対策の取り組みについて ②交政審答申：車両基準の策定



R3交通政策審議会報告書

図 1-2-12. WP.29と各分科会等の構成

車両安全対策の取り組みについて ②交政審答申：技術開発の促進

先進安全自動車(ASV)推進計画

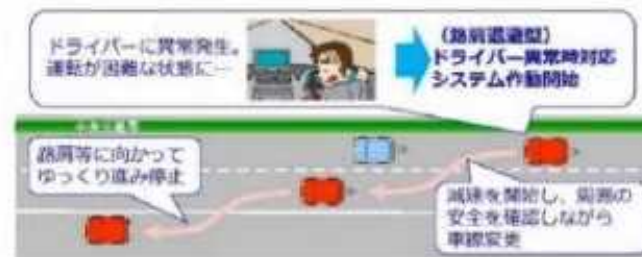
- 車両単体での運転支援システムや通信を利用した運転支援システム等を搭載した先進安全自動車（**A**dvanced **S**afety **V**ehicle）の開発・実用化・普及を促進することにより、交通事故死傷者数を低減し、世界一安全な道路交通を実現
- 特にASV技術について、技術要件の検討を通じてガイドラインを策定し、自動車メーカーによる技術開発の目標設定を容易とすることで技術開発の促進を図る



第6期 (2016～2020年度) 「自動運転の実現に向けたASVの推進」

(主な検討項目)

- 自動運転を念頭においた先進安全技術のあり方の整理
- 路肩退避型等発展型ドライバー異常時対応システムの技術的要件の検討
- Intelligent Speed Assistance (ISA) の技術的要件の検討
- 隊列走行や限定地域における無人自動運転移動サービスの実現に必要な技術的要件と課題
- 実現されたASV技術を含む自動運転技術の普及



R3交通政策審議会報告書
図 2-1-5. 第6期ASV
推進計画の概要

車両安全対策の取り組み（将来技術の例）

（R3交通政策審議会報告書より）

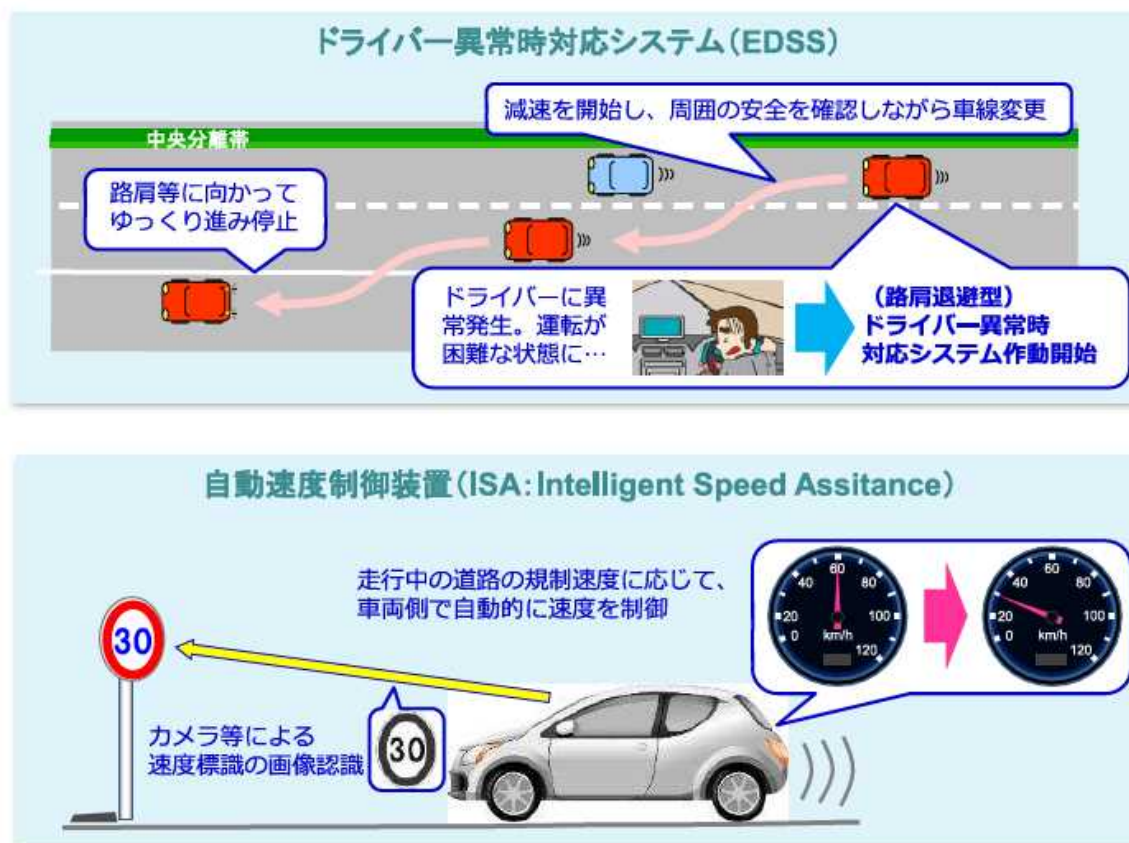


図 2-1-6. ドライバー異常時対応システム（EDSS）及び自動速度制御装置（ISA）の概要

デジタルを活用した交通社会の未来 2022

(2022/8/1デジタル社会推進会議幹事会決定より ①)

自動運転・運転支援 (1)

取り組み ()	年度	短中期				長期
		2022	2023	2024	2025	2026~2030
【共通】		デマンドサイドと連鎖した取組の具体化				
		産業政策との関係性の具体化				
ルール		道路使用許可に係る審査手続の合理化等、規制の合理化				
		基準緩和手続の合理化				
		スキル標準・認証制度等を競う大会の継続、国際イベント化				
		自動運転に係る国際基準・標準化の推進				
		道路交通に関する条約（ジュネーブ条約）との関係の整理				
		改正道路運送車両法着実な運用				
		自動運転に係る保安基準の着実な運用、国際基準化の推進				
		社会実装に向けて制度整備を必要とする項目の洗い出し				
利活用環境/連携基盤・データ/データ標準		交通環境情報の収集・生成・配信技術の研究開発				交通環境情報の配信に向けた検討・事業化を推進
		交通環境情報ポータルサイト				交通環境情報ポータルの事業化
		自動運転システムへの新たなサイバー攻撃手法の動向、インシデント情報、対策技術等の調査等を実施し、特に侵入検知システム(IDS)等の導入・運用についてガイドライン化				業界団体での活用促進
		V2X通信技術開発・普及促進				
		路車間通信を活用したシステムの市場展開				
		公開・運営（走行映像等のセンシングデータ）				
		公開・運営（事故データ）				
		ダイナミックマップの利活用拡大				ダイナミックマップの対象エリア拡大、地図更新等
インフラ・アセット		協調型通信ロードマップの策定				社会実装・実用化の推進
		地域課題解決型カーラズG等の実現に向けた開発実証				多様な5Gサービスの展開・推進
		仮想空間における安全性評価環境の構築				第三者機関等での利活用（事業化）
		協調型自動運転通信インフラ整備に関する検討				
		社会経済的なインパクトの整理・定量的な予測				
		社会的受容性の醸成				
		各種公道実証の推進				
		SIPによる研究開発・東京臨海部等における実証実験				次期SIPでの利活用によりさらに発展
	国際会議の開催、国際連携の推進				新たな学学連携により推進	

デジタルを活用した交通社会の未来

デジタルを活用した交通社会の未来 2022

(2022/8/1デジタル社会推進会議幹事会決定より ②)

自動運転・運転支援 (2)



デジタルを活用した交通社会の未来